


# JAバンク福島における 地域密着型金融の取組状況 (平成29年度)

平成31年3月

農林中央金庫福島支店



JAバンク福島(県下5JA、農林中央金庫福島支店)では農業と地域社会に貢献するため、平成28～30年度JAバンク福島中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成29年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。



# 目次

I 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援（JAバンク福島の農業メインバンク機能強化への取組み）


… P. 4

II 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

… P. 10

III 地域社会への貢献活動

… P. 13



# I 農山漁村等地域の活性化のための 融資を始めとする支援 (JAバンク福島の農業メインバンク機能強化への取組み)



## 農業融資商品の適切な提供・開発

- JAバンク福島は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成30年3月末時点のJAバンク福島の農業関係資金<sup>(注)</sup>残高は、**30,473**百万円となっています。

(注) 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

## 【資金種類別農業資金残高】

(単位:百万円)<sup>(注1)</sup>

種 類	平成30年3月末
プロパー農業資金 <sup>(注2)</sup>	26,320
農業制度資金 <sup>(注3)</sup>	4,153
農業近代化資金	2,022
その他制度資金 <sup>(注4)</sup>	2,131
合 計	30,473

(注)

1. 百万円未満切捨表示となっております。  
2. プロパー農業資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。また、プロパー農業資金の残高のうち14,980百万円は、「日銀の被災地金融機関支援オペ」を活用した貸出金です。

3. 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンクが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。

4. その他制度資金には、日本政策金融公庫の転貸資金、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)、農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

5. JAバンク福島では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の事務受託を受けております。

## 【農業資金の受託貸付金残高】<sup>(注5)</sup>

(単位:百万円)

種 類	平成30年3月末
日本政策金融公庫資金 <sup>(注5)</sup>	1,393
その他	0
合 計	1,393



## 担い手のニーズに応えるための体制整備

- JAバンク福島では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者と連携し、農業融資に関する訪問相談・資金提案活動を実施しています。また、県内5JAと金庫支店に計12名の「担い手金融リーダー」を設置し、活動のサポートをしています。また、JAにおいて計133名が「農業金融プランナー」の資格を保有しております。
- 農林中央金庫福島支店では、JAにおける農業融資機能の強化に向けた取り組みのサポート(農業者からの相談のバックアップ、JAとの協調融資など)や、県内農業法人との新規取引等の強化を目的として、「営業第一班・営業第二班」を設置しております。

# JA内事業間連携の強化

- 農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、金融部署と営農・経済部署等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

## 取組内容

JAの事業基盤である農業者への定期訪問活動において、金融部署と営農・経済部署が連携し、同行訪問や合同の情報連絡会議を開催。農業者の幅広いニーズ・意見に対応することにより、利用者満足度向上に取り組んでいます。

JAの農機販売部署や営農・経済担当者を対象に、農業資金に関する知識と借入手続等の研修会を開催し、スムーズな資金の提供に取り組んでいます。



# 県域事業間連携の推進

- 福島県、全農福島、農林中央金庫福島支店、東邦銀行を事務局として、魅力ある食品・食材を取扱う生産・加工事業者と地域色豊かな食品を求めるバイヤーの商談機会を提供し、地域経済の活性化に資することを目的に「ふくしまからはじめよう。食の商談会 ふくしまフードフェア2017」を開催しました。

## 【イベント開催状況】

イベント名	開催日	主催者	場所	来場団体数	内容
ふくしまからはじめよう。食の商談会 ふくしまフードフェア 2017	10月31日	福島県 JA全農ふくしま 金庫福島支店 東邦銀行 (4者共催)	ビッグパレット ふくしま (郡山市南)	セラー187団体 バイヤー58団体	福島県の出展者と県内外バイヤーとの商談のマッチング 当日成約件数:90件 継続案件:661件



## Ⅱ 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

# 新規就農者の支援

- JAバンク福島では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等支援資金(公庫)・JA新規就農応援資金を取り扱っています。
- JAによっては、市町村と連携しワンフロアー化による新規就農相談窓口の設置を行っています。

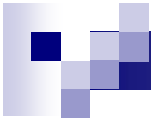
## 【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】 (単位:件、百万円)

資金名	平成29年度 実行件数	平成29年度 実行金額	平成30年3月末 残高
青年等就農資金(公庫)	3	25	131
就農支援資金(JA転貸)	-	-	-
JA新規就農応援資金	5	15	50
合計	8	40	181



## 利子助成事業（JAバンク利子助成等）

- 農業者に対する農機ハウスローン、アグリマイティ資金、スーパーS資金等の融資について、農業振興等に貢献するため設立されたJAバンクアグリ・エコサポート基金および農林中央金庫が最大1%の利子助成・利子補給を行い、農業担い手をサポートしています。
- 平成29年度分の利子助成・利子補給申請の取りまとめを行い、平成30年7月24日、9月28日にそれぞれ助成金・補給金を交付しました。
- 利子助成・利子補給の交付実績合計は、県内全体で2,434件（前年比+294件）、25,444千円（前年比+2,594千円）となりました。



## Ⅲ 地域社会への貢献活動

# 地域住民の農業に対する理解促進

- JAバンク福島は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入等に取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県下の5年生在籍の小学校等454校へ19,000部が配布され、学校の授業等において活用されています。



写真：教材本贈呈式の様子



写真：贈呈した教材本

- また、県下JAでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

### 【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	主な活動内容
JAふくしま未来	学校教育支援事業	食体験、農業体験
	地域の寺子屋	食農教育
	准組合員のつどい	准組合員交流事業、食農教育
	トマトまつり	トマト収穫体験・料理教室
	ちびっこ農業大学	農業体験、地域交流
	農業体験学習	バケツ稲の栽培、野菜苗の定植
	米粉料理教室	米粉を活用した食育
	地元食材料理教室	地元食材を活用した食育
JA福島さくら	バケツ稲づくり体験	管内小学生へのバケツ稲づくりの指導
	手作り料理教室	地元野菜を使用しての手作り料理体験教室
	田んぼの生きもの調査	生き物調査、水田の多面的機能について学習
	学習田体験事業	じゃがいも・こんにやく芋の栽培

## 【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	主な活動内容
JA夢みなみ	あぐりスクール	農業体験スクール
	学校教育支援事業	バケツ稲の栽培
	バケツ稲・田んぼ教室	田植え、稲刈り、脱穀、精米、収穫祭
	田んぼの生き物調査	生き物調査、水田の多面的機能について学習
	米倉庫見学	米の話、品質検査・放射能検査見学、作業体験
	親子ふれあいのつどい	さつまいも・りんごの収穫体験
JA東西しらかわ	田んぼの生き物調査	田んぼの生き物調査
	高校合格祈願米	受験生へ合格祈願米贈呈、資料配布
	バケツ稲	管内小学生へのバケツ稲づくりの指導
JA会津よつば	農業体験	小学生・園児向けの農業体験
	学校給食への牛肉食材提供	福島県産食材を活用した学校給食の促進
	教育支援活動	小中学校を対象に地元産米給食を通じた食育
	あいづ野菜こどもクッキングコンテスト	地元小学生による地場食材を使用した料理コンテスト
	まんま～じゃ調査隊	食農教育を目的としたイベント



## ■ 活動の様子

JA福島さくら 田んぼの生き物調査



JA夢みなみ 田んぼ教室



# 環境保全活動への取組み

- JAバンク福島は、社会貢献活動の一環として、JAが地域の皆様からお預かりした定期貯金(愛称:エコスマイル定期貯金)のJAにおける運用益の一部と、JAバンクアグリ・エコサポート基金からの寄付金贈呈により環境保全活動にも取り組んでいます。

## 【エコ定期貯金取扱いによる環境保全活動】

事業名	実施主体	贈呈先	贈呈金額
JAエコ定期貯金	県内5JA	・国立大学法人福島大学	746,640円
JAバンクアグリ・エコサポート事業	JAバンクアグリ・エコサポート基金	・ふくしまエコチャレンジ事業	